

- 幼少期に木と触れ合うことは、情緒を安定させるなど様々な効果を見込めることから、第3期森林税では、児童センター等の子どもの居場所の木質化、木製おもちゃの設置等を進めてきたところ。
- 利用者からは、取組を評価するとともに、子どもの情緒に良い影響を与えるなど、高い評価が得られている。
- 依然として地域から多くの要望があることから、**基本方針の目標値を上方修正**した上で、R3以降も引き続き事業を行いたい。



【伊那北小学校児童クラブ(伊那市)】

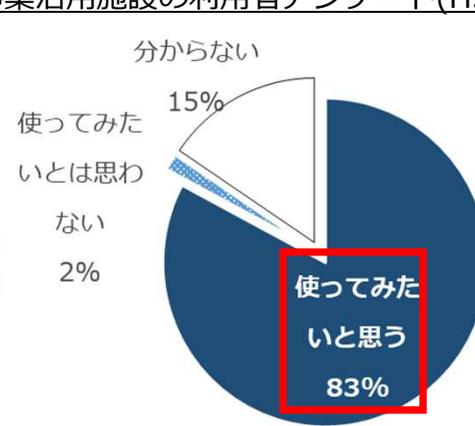


【こどもの森幼稚園(長野市)】

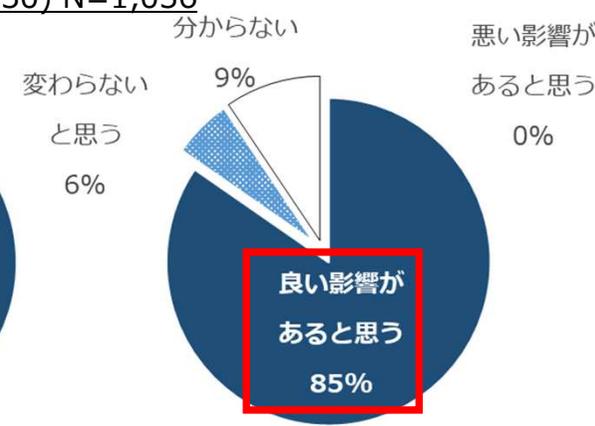
事業活用施設の利用者アンケート(H30) N=1,036



「子どもの居場所」で県産材を利活用する取組の評価



事業を通じた暮らしの中での県産材利用の意向

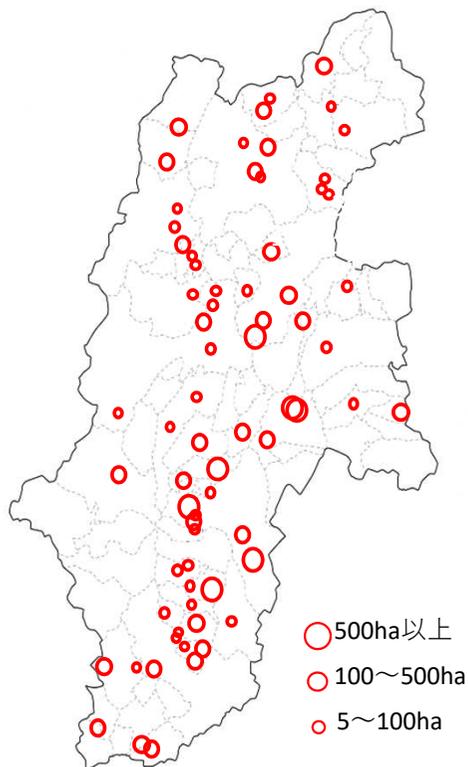


県産材使用が子供の情緒に与える影響

事業名	現行の目標値	R2末進捗見込	目標値改正(案)
地消地産による木の香る暮らしづくり事業 【子どもの居場所】	子どもの居場所の木質化、木製家具・木のおもちゃ等の設置 概ね 175箇所 程度/5年間	198箇所	270箇所

- 第3期森林税では、自立的・持続的な長野県独自の森林管理体制を構築するため、「里山整備利用地域」の認定を推進しているところ。
- 現時点で、「里山整備利用地域」の認定数は91地域。
- 認定された地域において里山の整備・利活用を促進するため、地域が取組む体制整備や森林整備等に対して、森林税を活用した支援を実施してきたところ。
- そうした取組の成果により、地域住民による主体的な活動が県内各地で行われており、自立的・持続的な森林管理に向けた体制が構築されつつある状況。

【認定地域数 91地域】



松本市奈川曾倉沢：薪の生産

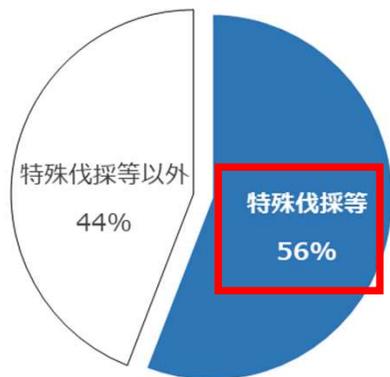


池田町大峰高原：森林環境教育

森林税を活用した主な支援メニュー

事業名	内容	目標値
里山整備利用地域活動推進事業	・地域住民等で構成する協議会による計画作成、地域活動等を支援。 【R2】44,000千円	里山整備利用地域の認定数約150地域
里山資源利活用推進事業	・自立的・持続的な管理体制の構築に必要な資材の導入等を支援。 【R2】22,050千円	
みんなで支える里山整備事業【県民協働】	・県民協働による里山の整備（間伐、下刈り等）、路網整備等を支援。 【R2】110,000千円	地域住民等の主体的な参画による里山の整備・利活用概ね1,500ha程度

- みんなで支える里山整備事業【県民協働】は、1,500haの整備・利活用を目標に取り組んでいるものの、地域のニーズは、間伐等の森林整備よりも地域の課題となっている生活圏の危険木伐採等が多い状況。
- それらの取組は整備面積は小さいものの、地域の抱える課題の解消に向け、地域住民自らが自立的に取組む活動であり、自立的・持続的な森林管理体制を構築する上で重要な取組。
- そこで、**基本方針に活動地域数の目標値を追加**することで、規模の大きな森林整備等の取組を支援しつつも、規模が小さくとも地域住民の主体的な活動も支援するという方向性を明確にし、地域のニーズに応じたきめ細やかな支援を行いたい。



事業内容	平均面積
特殊伐採以外	2.0ha/地域
特殊伐採等	0.6ha/地域

事業の割合 (H30、R元合計)

【生活圏の危険木伐採の状況(伊那市) 左：施行中 右：完了後】

整備面積の状況 (H30、R元平均)

事業名	現行	目標値	R2末進捗見込
県民協働による里山の整備・利用事業 【構成する事業】 ・みんなで支える里山整備事業【県民協働】 ・里山整備利用地域活動推進事業 ・里山資源利活用推進事業		・里山整備利用地域の認定 約150地域 /5年間 ・地域住民等の主体的な参画による里山の整備・利活用 概ね1,500ha 程度/5年間	110地域 (進捗率:73%) 197ha (進捗率:13%)
		追加(案) ・里山の整備・利活用に取り組む里山整備利用地域数 約150地域 /5年間	78地域 (進捗率:52%)

- 学校林等利活用促進事業の目的は、教育現場で森林の利活用を推進すること。
- そのために、長期間未整備のため利用が困難だった学校林の森林整備や、利活用に向けた活動支援（指導者派遣、資機材導入等）を行ってきたところ。
- 目標値は、「学校林を整備」となっており、学校林の整備を伴わずに活動支援のみ行い利活用につなげた学校が成果としてカウントできていない状況。
- そのため、**基本方針の目標を「整備」から「整備・利活用」に変更**し、活動支援のみを必要とする学校に対しても引き続き支援を行い、教育現場での学校林の利活用を進めていきたい。



学校林の森林整備
(間伐、除伐など)



利活用に向けた活動支援の状況
(指導者派遣、資機材導入など)

(単位：校)

年度	森林整備	活動支援	合計
H30	6	0	6
R元	10	3	13
R2(見込)	7	8	15
計	23	11	34

※重複を除外した、実数のみのカウント

事業名	目標値
みんなで支える里山整備事業【県民協働】	現行 長期間未整備のため利用困難な学校約60箇所程度/5年間の学校林を整備
	変更(案) 長期間未整備のため利用困難な学校約60箇所程度/5年間の学校林の <u>整備・利活用</u>